

学 校 関 係 者 評 価 表 (最終評価)

江 田 島 市 立 三 高 小 学 校  
学 校 関 係 者 評 価 委 員 会

評価項目	評価	理由・意見等
計画、目標等の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の主体的、協働的な力を育む活動が計画できている。</li> <li>・無理のない目標で概ねよい。</li> </ul>
実際の実施の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「見てみたい」「やってみたい」を引き出せる環境構成の工夫バージョンアップしていた。</li> <li>・児童数が少ないことを欠点とせず、異年齢集団の活動を積極的に行うことが三高小学校ならではの特色になっている。</li> <li>・自由進度学習が浸透してきて、表情が生き生きとしている。</li> <li>・課題に対してピンポイントで具体的に対策を立て組織的に取り組まれている。</li> </ul>
自己評価の結果の内容の適切さ	A・B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己選択や自己決定する力は学力、自己肯定感、意欲等々すべてに通じる生きる力になるので、これからも育ててほしい。</li> <li>・自己評価はなかなか難しいと思うが、概ね適切である。</li> </ul>
今後の改善策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のよさはわかりにくいものだと思う。固定化されていない関係でのよさを見つける活動は、新しい発見もあり、よい取り組みだと思う。</li> <li>・児童や先生に極度のストレスを与えないようにしていけば今のままで大丈夫だと思う。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての取組の土台となるのが家庭だと思う。学校が牽引役となり、専門家による学習の場を設けて保護者啓発し、新しい発見や気づき、内省時間を持つことも大切だと思う。</li> <li>・先生方も個人の能力（自分の得意）に磨きをかけてください。</li> <li>・階段、廊下の掲示や展示がとても参考になった。</li> <li>・子どもの活動の規制が緩んできてのびのびした授業になってきたと感じた。</li> </ul>

\* 評価は、A（とても適切）B（概ね適切）C（あまり適切でない）D（まったく適切でない）N分からない